

ふれあい電話

「ふれあい電話」は、平成八年七月開設以来、週一回の相談(毎週金曜日、午後一時〜五時)を続けてきましたが、この十月で相談件数は四百五十件に達しました。

あなたの悩みを

誰かに相談したいけどうまく話せない、口に出すのがこわい、人に知られたくない!!どこへ相談したらよいか分からない。

そんな時「ふれあい電話」に相談してみませんか。きっと解決の糸口が見つかります。

人は、悩みや不安・不満等思いのたけを吐き出しただけでもすっきりして、また明るく生きるエネルギーが湧いてくるものです。

相談員は、あなたの悩みにじっくり耳を傾け、あなたに寄り添いながら、あなたが具体的に動ける方向に力を貸してくれます。

「ふれあい電話」は、平成八年七月開設以来、週一回の相談(毎週金曜日、午後一時〜五時)を続けてきましたが、この十月で相談件数は四百五十件に達しました。

相談内容は、やはり、子どもさんに関する教育相談が一番多く、次いで家族間の人間関係の悩みや、自分自身の生き方に関する事等々いろいろあります。

最近の相談の特徴は、継続相談が結構多くなったということです。問題解決の糸口が見えるまで継続的に相談してこれ、相談者自らがいろいろな努力を積み重ねていくうちに、良い方向に変わってきて、本人もそれを取り囲む周りの人々も幸せになっていくという例があります。

又、問題が深刻な場合や、専門的なアドバイスが必要な時は適切な相談機関を紹介しております。

相談員も皆様のニーズに応えられるよう常に研修に励んでおります。

どんな小さなことでも、ひとりで悩んでいないで、一緒に考えてみませんか。気軽に電話下さい。

小須戸町 教員委員会

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

●十二月の相談日
一日(金)八日(金)十五日(金)
二十二日(金)二十九日(金)

●受付時間
午後一時〜五時

●電話番号
三八一三三〇〇

●お名前、言わなくてもいいです。
●秘密は、固く守ります。

分館たより

小須戸分館第四回ふれあいフェスティバル結果報告

秋晴れの十月八日(日)親水緑地公園において第四回ふれあいフェスティバルが行われました。ゲートボールや五色綱引きなどで楽しんだあと焼肉パーティーで盛り上がりました。誰でも自由参加のこのフェスティバルは、最終的に三百七十名の参加がありました。



新保分館運動会結果

十月八日(日)町民体育館で第十九回新保分館運動会が



図書だより

〈新刊案内〉

- 中央公民館 ▲ 自分史のすべて 色川 大吉
- 希望の国のエクソダス 村上 龍
- 暗殺の年輪 藤沢 周平
- 八州廻り桑山十兵衛 佐藤 雅美
- 妖怪 平岩弓枝
- 光源 桐野 夏生
- あやし〜怪〜 宮部みゆき
- ゴッホの証明 小林 英樹
- 配達される女 逢坂 剛
- 百年の預言(上・下) 高樹のぶ子
- それでも元氣な私 小手鞠るい
- 夫婦茶碗 町田 康
- うらやましい死にかた 五木 寛之
- 人間の絆 童門 冬二
- 失つて、得る。 大島 渚
- バスにのって 田中小実昌
- 歩けば、風の色 辰濃 和男
- 武士道 新渡戸稲造
- 醒めない夢 増島みどり
- サムライの娘 佐々木佳子
- 喜ばれて喜んで 96歳 飯田 深雪
- 天声美語 美輪 明宏
- がん患者学 柳原 和子
- 幼年の「時間」 牛腸 茂雄
- 話を聞かない男、地図が読めない女

ふれあい会館

「ふれあい会館」

- 生きてます、15歳。 井上美由紀
- 午後の居場所 落合 恵子
- 壬生義士伝(上・下) 浅田 次郎
- 時雨の記 中里 恒子
- 新宿鮫風化水脈 大沢 在昌
- きれぎれ 町田 康
- 虹の谷の五月 船戸 与一
- 花腐し 松浦 寿輝

第十八回 町民俳句大会受賞発表

- 応募総数一一八五句の中から各部門に次の方々が入賞されました。おめでとうございます。
- 中学生の部(敬称略)
町長賞 松沢樹里(戸石)
議会議長賞 井上詩織(小向)
教育長賞 吉田真人(矢代甲二)
公民館長賞 西山富美子(安部二)
文化協会賞 井上詩織(小向)
俳句同好会賞 坂上公男(鎌倉)
 - 高校生の部
町長賞 田端竜也(新津市)
議会議長賞 星野麻利子(シ)
教育長賞 伊藤史織(シ)
公民館長賞 石井望(シ)
文化協会賞 田村未来(シ)
俳句同好会賞 三科達也(シ)
 - 一般の部
町長賞 馬場綾子(新町三)
議会議長賞 丸山栄子(うつき)
教育長賞 坂井隆思(新保三)
公民館長賞 吉田素糸(本町一)
文化協会賞 長井武雄(矢代甲二)
俳句同好会賞 丸山虚秋(うつき)

VOICE & VOICES

私は思う VOICES

私は考える VOICES

「復活した縄文犬」

長岡にも縄文ミュージアムが出来、火焔式土器を産んだ当県の縄文文化の素晴らしさを再確認させられました。早稲田大学の金子先生によって「復活した縄文犬」と考古学会に発表された犬で、なおかつ柴犬保存会の金賞犬が、当町に2頭飼われています。

全国に30頭ほどしかいない犬種で、普通の日本犬と(注)血液や骨格、頭骨の形がちがっており、デインゴやパプアニューギニアの野生犬と同じタイプの小型日本犬です。

(注)洋犬や一般日本犬の血液がNAN型の犬達に対してNGN型の犬達です。



本町2 梅津浩史さんの「熊の桜姫」



町5 藤真由さんの「薫の雪絵」

※ご投稿頂きありがとうございます。ありがとうございました。

縄文探偵団記

文芸欄

この母に父母朝顔のやうに

吉田素系
出雲崎より備中への天の川 中野太郎
宙吊りの赤てららと唐辛子 田中美根子
お気持は分かりますがと秋扇 丸山虚秋
展望台二百十日の風の色 坂井隆思
遠い初めの旬前進竹の春 間野えり
赤とんぼあとさきなりつがいゆく 中野稚世
仏日の夫が盛りたる茸飯 吉沢文子
時き終えて旅の支度も爽やかに 丸山栄子
週刊誌どれを読んでも夢がない 長井武雄
髪型を変えた心を親は読み 藤井春江
里帰り好物よんで温い母 保科志枝
珍しく一言返す妻を読む 加藤米二

シリーズ 「今、子どもたちは」 (51)

「なかよし広場」でかわり広げよう! 小須戸小学校

風あげ、おじいさん・おばあさんと昔の遊び、輪投げ、ゲートボール、お父さん・お母さんと昔の遊び、グラウンドゴルフ。これは、「なかよし広場」で行った遊びです。

十月一日の日曜日、信濃川親水緑地公園を会場に、全児童、保護者、地域の方々と遊びをとおして、かわりを広げました。「なかよし広場」と名称を変え、昨年に続いて二回目のチャレンジ21教育推進運動の事業です。

子どもたちは、一年生〜六年生で編成する十人前後の縦割り班で遊びを選び、午前中を使って楽しみました。

お昼には、推進委員とボラ

